

機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 手術用ドリルビット（JMDN コード: 32390000）

Medi-D φ4.2 ロングドリル

【禁忌・禁止】

1. 本品を科学薬品に曝すことは避けること。
2. 適応以外の手術手技に使用しないこと。
3. 本品を加工、変形しないこと。〔破損などの原因となるため〕
4. 本品を駆動器械を用い回転させる場合は、回転中に軸以外の力を加えないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

外観写真



2. 寸法

ドリル(mm) (φD)	溝長(mm) (φL1)	全長(mm) (φL)	材質
4.2	47	300	ステンレス鋼

3. 材質

ステンレス鋼

4. 原理

手動式又は動力式の手術用穿孔器に取り付け、適切な速度で回転させると、骨に本品の径と同じ寸法の孔が作成される。

【使用目的又は効果】

適切な速度で回転させて、骨に本品の径と同じ寸法の孔が作製される。本品は再滅菌を行って再使用可能である。

【使用方法等】

本品は、未滅菌です。本品のご使用の前には必ず点検を行い、洗浄、滅菌を行ってください。

標準的滅菌条件又は、医療機関で滅菌バリデーションが検証された滅菌条件にて滅菌を行うこと。

1. 使用方法

手動式又は動力式の手術用穿孔器に取り付け、適切な速度で回転させる。

- ① 手術用穿孔器やハンドルとの接続に問題が無いことを確認する。
- ② 使用する骨の径に適した製品を選択し、適切な深さまで孔を作成する。
- ③ 使用後は、速やかに適切な方法で洗浄、滅菌し、清潔な場所で保管する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本製品は未滅菌状態で供給されるので、使用前には「日本薬局方」に定める「高圧蒸気滅菌法」に従い、滅菌をすること。標準的滅菌条件又は、医療機関で滅菌バリデーションが検証された滅菌条件にて滅菌を行うこと。
- (2) 使用上の注意
 - ・使用時に必要以上の力を加えないこと。
 - ・本品を改造、または変形させないこと。
 - ・相互作用 併用禁忌・禁止（併用しないこと）

2. 不具合・有害事象

- ・ドリルを電動式、若しくはエア式ドリルに装着する際、ドリルの軸がずれていないか確認して装着すること。「ドリルの異常摩耗、折損、劣化の原因になる」
- ・ドリリングする際、必要以上の力で押し付けない。「ドリルの異常摩耗、折損の原因となる」
- ・当該ドリルは必ず右回転でドリリングを行うこと「ドリルの異常摩耗、折損、接触部分の異常発熱の原因となる」
- ・骨が硬い、厚い等の場合無理なドリリングはしないこと。「ドリルの異常摩耗、折損の原因となる」
- ・ドリリングする際、定期的に骨屑を適切に除去すること。「ドリルの異常発熱、折損、劣化の原因となる」
- ・ドリリング中にドリリングする方向を変更したり、ドリルがたわむような力を加えないこと。「ドリルの異常摩耗、折損の原因になる」
- ・ドリルの切れが悪いと感じた場合は、新しいドリルと交換すること。「ドリルの異常発熱、折損の原因となる」

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 高温、多湿、直射日光及び水ぬれを避け、塵やほこりのない清潔な場所に室温で保管すること。
- (2) 変形の原因となる硬い物への接触や衝撃を避け、他の器具と重ねて保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は出来るだけ早く洗浄、消毒等の汚染除去を行い、血液、体液、組織等の汚物を除去し、感染防止のために【使用上の注意】の欄に示す条件及び方法で滅菌を行い、乾燥した状態で保管すること。
2. 洗浄、消毒、殺菌等に用いる洗剤は、医療用などの洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する。
3. 強アルカリ、強酸性洗剤・消毒剤は、本品を腐食させる恐れがあるので使用しないこと。
4. 金属たわし、クレンザー（磨き粉）は本製品の表面が損傷するので、付着除去及び洗浄時に使用しないこと。
5. 洗浄装置（超音波洗浄装置等）を使用する時は、鋭利部同士が接触して損傷することが無いように注意すること。
6. 超音波洗浄装置を使用する時は、洗浄時間、手順等は使用する装置の取扱説明書を遵守し、器具の隙間部に異物がないことを確認できるまで洗浄すること。
7. 洗浄後は腐食防止のため直ちに乾燥させること。

【包装】

包装単位

1本／包装

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所】

製造販売業者: 株式会社オー・ケー・シー

住所: 愛知県名古屋市中川区細米町 2-72

電話番号: (052)354-6078

製造業者: 株式会社オー・ケー・シー

製造国: 日本